



令和2年1月29日

各位

会社名 燦キャピタルマネージメント株式会社  
代表者名 代表取締役社長 前田 健司  
(コード番号：東証 JASDAQ2134)  
問合せ先 取締役 経営企画室長 松本 一郎  
(TEL. 03-6452-9626)  
URL <http://www.sun-capitalmanagement.co.jp>

## 漫画北斎浮世絵プロジェクト有限責任事業組合への 追加出資（連結子会社化）に関するお知らせ

当社は、漫画北斎浮世絵プロジェクト有限責任事業組合（以下、「漫画北斎浮世絵プロジェクトLLP」といいます。）へ追加出資し、連結子会社化することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 漫画北斎浮世絵プロジェクトLLPへの出資の目的及び事業内容

当社は、国内不動産事業及び国内外のクリーンエネルギー関連事業を中心に投資事業を行って参りましたが、いまだ継続的且つ十分な安定収益を確保するまでには至っていないことから、新たな投資事業による収益の獲得を目指すために、これまでの当社グループによる事業活動により獲得してきた国内外における投資情報や人的ネットワークを活用し、投資会社として、インバウンド関連の投資事業及び投資マネジメント事業、今後、発展・成長が見込まれるアジアにおける投資事業及び投資マネジメント事業等を展開させることで、当社の収益性の向上を図る必要があると考え、令和元年12月27日付「第三者割当による新株式の発行及び第11回新株予約権の発行並びにコミットメント条項付第三者割当契約締結、主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、令和2年1月21日に、新たな投資のための必要資金を調達いたしました。

今回、当該調達資金の使途として予定しておりました、国内におけるマンガ関連の販売事業及びプロジェクト事業に対する投資事業等を行うために、当社は、漫画北斎浮世絵プロジェクトLLPに対して追加出資し、当該LLPを当社の連結子会社とすることとし、以下の事業を展開・推進していきたいと思っております。

当社においてインバウンド関連事業は、主に宿泊施設の開発に関する取組として行って参りましたが、それと並行して、外国人観光客の促進のみならず、当社が日本の技術やコンテンツ、そして、それを保有する企業等を海外に繋ぐビジネスプラットフォームの役割を果たすことが、当社の事業収益を生み出す新たなビジネスモデルになると考えております。

このような考えのもと、当社は、日本政府が発表した「クールジャパン戦略」の動向、訪日外国人の旅行者数の増加傾向、アニメや漫画を始めとする日本のコンテンツ産業の魅力が世界中のファンを引き



つけている実態等を踏まえ、日本のコンテンツに関する情報収集活動において、日本が世界に誇る代表的なコンテンツとしての「漫画」に関する事業を計画している一般財団法人メディア芸術振興財団（所在地：東京都墨田区大平一丁目15番16号、代表者：横山裕康、以下、「メディア芸術振興財団」という。）と情報交換するようになりました。

メディア芸術振興財団は、日本の文化である「漫画」と「墨田区で生まれ過ごした葛飾北斎」が融合する「まんが浮世絵」というコンテンツを創出し、国技館、江戸東京博物館、東京スカイツリー、江戸のれん、すみだ北斎美術館や刀剣博物館等、官民が一体になって多くの文化・芸術を担う観光名所が揃う墨田区を、「北斎と漫画の聖地」として、世界に発信しようという取組を行っております。

その取組の一つが、「漫画北斎浮世絵プロジェクト」であり、当社が、今回、投資を予定している事業です。

「漫画北斎浮世絵プロジェクト」事業は、一般社団法人マンガジャパン（所在地：東京都豊島区南池袋二丁目41番12号、代表理事：里中満智子、以下「マンガジャパン」という。）が本事業の趣旨に賛同する漫画家から原画の著作権を利用することの許諾を得る作業を行うという形で、メディア芸術振興財団に協力しております。

今後、メディア芸術振興財団は、マンガジャパンが日本を代表する複数の漫画家に北斎浮世絵版画の原画を作成させ、木版彫りと版画摺りの工程を経た上、シリアルナンバーと直筆サインが入った版画絵を製作いたします。

版画絵の原画を描いていただく漫画家につきましては、20人を予定しており、現在、メディア芸術振興財団がマンガジャパンの協力のもと、16人の漫画家から原画を描いていただく内諾を得ており、今後、メディア芸術振興財団が各々の漫画家と版画絵の制作及び著作物利用許諾に関わる契約書を締結し、各々の漫画家が原画制作を開始いたします。

なお、残りの4人の漫画家につきましては、令和2年2月末までには決定いたします。

販売につきましては、メディア芸術振興財団が、「漫画北斎浮世絵プロジェクト」のウェブサイト을立ち上げ国内外に告知し、インターネットによる告知及び販売を行うとともに、一般社団法人墨田区観光協会（所在地：東京都墨田区押上一丁目1番1号 東京スカイツリータウン ソラマチ5F、理事長：森山育子）が運営する墨田区観光案内所においても国内外の観光客に対してPRを行い、在墨田区の小売店での店頭を通じて、販売していこうというものです。

当社は、版画絵の作成費用及び販売委託費用等の資金として、メディア芸術振興財団及び当社が組合員となって設立済みの、漫画北斎浮世絵プロジェクトLLPに対して、230百万円の追加出資を行い、版画絵の製作に入ります。

版画絵の制作に着手した後、メディア芸術振興財団が販売促進用のアプリケーションを制作するイベント企画会社のトライアンフブリッジ株式会社（所在地：東京都渋谷区千駄ヶ谷一丁目5番1号、代表者：澤口欣也、以下、「トライアンフブリッジ社」という。）にウェブサイトの制作や販売促進に関わるプロモーション業務を委託し、日本国内及び海外へ版画絵の販売を進める予定です。

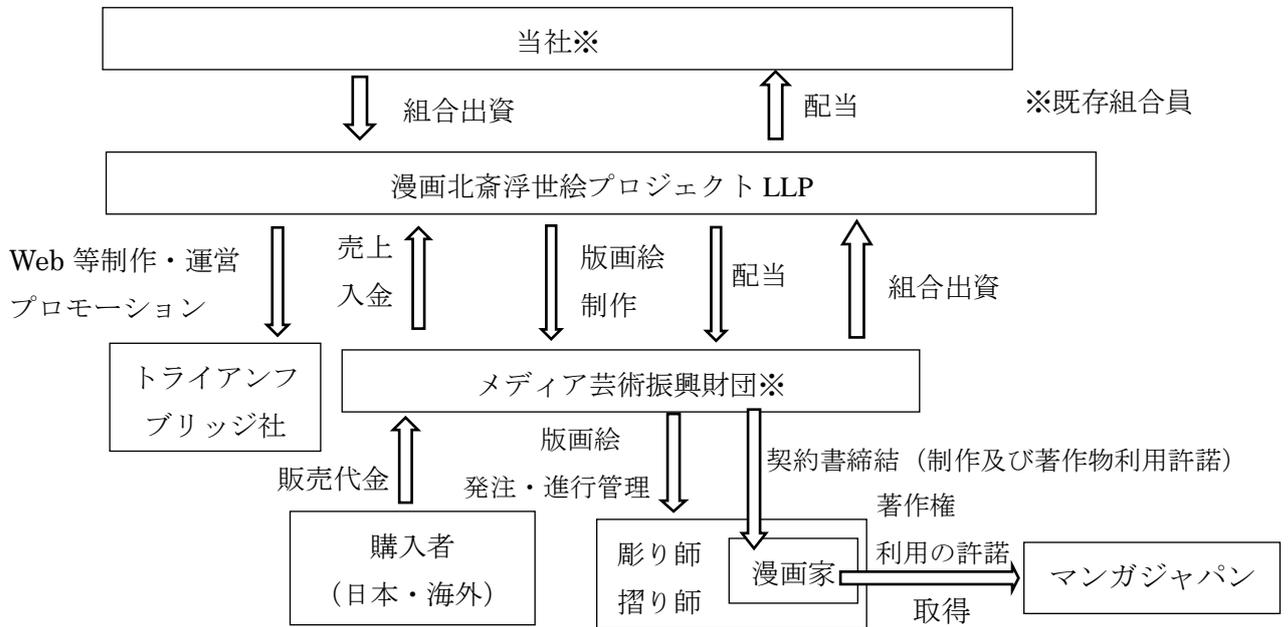
当社は、販売される版画絵の販売収入を原資とする配当を、漫画北斎浮世絵プロジェクトLLPから受ける予定ですが、下図の通り、当社以外にも既存の出資者が存在するため、当該LLPにつき、当社の出資比率（99.8%）に応じた配当が行われることとなります。

当該LLPは、当社による追加出資後、「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関



する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会 平成 18 年 9 月 8 日 実務対応報告第 20 号)により、当社の連結子会社となることから、当該版画絵販売事業が当社の連結業績に影響を与える可能性があります。

【漫画北斎浮世絵プロジェクトスキーム図】



なお、国内におけるマンガ関連の販売事業及びプロジェクト事業に対する投資事業の詳細につきましては、令和元年 12 月 27 日に公表いたしました「第三者割当による新株式の発行及び第 11 回新株予約権の発行並びにコミットメント条項付第三者割当契約締結、主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 異動する子会社 (漫画北斎浮世絵プロジェクト LLP) の概要 「令和 2 年 1 月 29 日現在」

(1) 名称	漫画北斎浮世絵プロジェクト有限責任事業組合
(2) 所在地	東京都港区芝公園一丁目 3 番 10 号 ハリファックス芝ビル 4F
(3) 設立根拠等	有限責任事業組合契約に関する法律に基づく有限責任事業組合
(4) 組成目的	一般財団法人メディア芸術振興財団が主催する「漫画北斎浮世絵」の版画作品の製造投資事業とその販売
(5) 組成日	平成 30 年 12 月 25 日
(6) 出資の総額	1,000,000 円
(7) 出資者及び出資比率	燦キャピタルマネージメント株式会社 (50%) 一般財団法人メディア芸術振興財団 (50%)
(8) 業務執行組合員	職務執行者 齋藤頭次 (燦キャピタルマネージメント株式会社) 職務執行者 興相敏郎 (一般財団法人メディア芸術振興財団)
(9) 当会社間関係	
資本関係	当社は当該組合の出資持分の 50% を保有しております。
人的関係	当社取締役の齋藤頭次を職務執行者として選任しております。
取引関係	当社と当該組合との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該組合の関係者及び関係会社との間には、特筆すべき取引関係はありません。



関連当事者への 該当状況	当該組合は、当社の関連当事者に該当いたします。		
(10) 最近3年間の経営成績及び財政状態	(単位：円)		
決算期	平成29年11月期	平成30年11月期	令和元年11月期
純資産	—	—	—
総資産	—	—	—
売上高	—	—	—
営業利益	—	—	—
経常利益	—	—	—
当期純利益	—	—	—

※漫画北斎浮世絵プロジェクトLLPは平成30年12月25日に設立され、決算月を11月としているので、令和元年11月期が最初の決算となります。本組合は一般財団法人メディア芸術振興財団が主催する「漫画北斎浮世絵」の版画作品の製造投資事業とその販売を目的としておりますので、令和元年11月期には売上や営業利益はございません。

### 3. 出資金額及び出資後の出資比率の状況

- (1) 異動前の出資金額 500,000円 (出資比率：50.0%)
- (2) 追加出資金額 230,000,000円
- (3) 異動後の出資金額 230,500,000円 (出資比率：99.8%)

### 4. 日程

- (1) 当社取締役会決議 令和2年1月29日
- (2) 契約締結日 令和2年1月29日
- (3) 出資実行日 令和2年1月29日

### 5. 今後の見通し

当社としましては、漫画北斎浮世絵プロジェクトLLPに追加出資し、連結子会社化することにより、今後、国内におけるマンガ関連の販売事業及びプロジェクト事業等を展開させることで、当社の収益性の向上を図り、当社の企業価値向上に大きく寄与するものと考えております。

なお、当該事業の収益の実現は来期以降となりますので、当該LLPの子会社化が当社の当期連結業績に与える影響は軽微です。

#### ※今後のスケジュール (予定)

- 令和2年2月 漫画家による原画の制作開始
- 令和2年9月 版画絵の完成
- 令和2年10月 版画絵の販売開始

以上



(参考) 当期連結業績予想 (令和元年 11 月 14 日公表分) 及び前期連結実績 (百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (令和 2 年 3 月期)	851	87	81	△281
前期連結業績 (平成 31 年 3 月期)	1,069	58	49	△484